

上場会社名 双日株式会社  
 コード番号 2768 URL <https://www.sojitz.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 昌義  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 柳沢 洋一  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日  
 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(TEL) 03-6871-3404

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	744,622	△16.7	11,997	△66.0	10,454	△67.0	9,147	△69.0	6,656	—
2020年3月期第2四半期	893,832	△5.1	35,259	△31.5	31,643	△20.9	29,517	△20.5	△5,264	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.62	7.62
2020年3月期第2四半期	23.63	23.63

(注)「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円	%		%
2021年3月期第2四半期	2,154,676		607,422		569,494	26.4		26.4
2020年3月期	2,230,285		621,898		579,123	26.0		26.0

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00	
2021年3月期	—	5.00	—	—	—	
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	円 銭	
通期	30,000	△50.7	25.01	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「基本的1株当たり当期利益」は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を基に算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	1,251,499,501 株	2020年3月期	1,251,499,501 株
------------	-----------------	----------	-----------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	52,402,097 株	2020年3月期	32,204,257 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	1,200,420,776 株	2020年3月期2Q	1,249,264,273 株
------------	-----------------	------------	-----------------

(注)当社は、「役員報酬BIP信託」を設定しており、当該信託に係る信託口が所有する当社株式(2021年3月期2Q 1,547,972株、2020年3月期1,667,211株)を自己株式として処理しています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載致します。また、11月2日(月)にアナリスト・機関投資家向け決算説明会(ネットカンファレンス)を開催する予定であり、説明会の資料、説明内容(動画)及び主な質疑応答については、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結純損益計算書	8
(3) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 継続企業の前提に関する注記	13
(7) セグメント情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 経済環境

当連結会計年度の第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う「ヒト・モノ」の移動制限の緩和、経済活動再開の動きが見られましたが、感染拡大前の水準には回復しておらず、また、地域によっては感染の再拡大に伴う制限措置の強化の動きが見られるなど、依然として第2波による停滞が懸念されます。

米国は、経済活動再開後に新型コロナウイルス感染者が再度急増したものの、FRBによる大規模な金融緩和策に加え、追加経済対策への期待もあり、景気は底打ちし緩やかな回復傾向にあります。一方、先鋭化する対中圧力、また、11月に控えた大統領選挙の結果及び施策が経済にどのような影響を及ぼすのか注視が必要です。

欧州は、EUが新型コロナウイルスの被害の大きい加盟国を支援する欧州復興基金に合意し景気は持ち直し傾向にありますが、回復ペースは国によって異なり、機動性ある回復が実現されるか不透明な状況です。また、財政余力の違いによる南北格差の拡大、高債務国の財政リスク、英国・EUの通商協議の行方にも注視していく必要があります。

中国は、5月末の全国人民代表大会で大規模な経済対策を公表し、インフラ・不動産投資が景気回復を主導しています。一方、米中対立の激化、台湾問題や領有権を巡る南沙・西沙諸島の緊張感が高まっている点には引き続き注意を払う必要があります。

アジアは、新型コロナウイルス感染症に伴う外出・移動制限が段階的に緩和されてきましたが、一部では感染再拡大、移動制限の再導入の動きが見られます。各国経済は引き続き厳しい状況にあり、第2波のリスクや長期化による信用リスクの拡大には警戒が必要です。

日本は、政府、日銀により企業金融の下支え、金融安定化が図られており、景気は第2四半期で底打ちとなり緩やかな回復基調となっています。経済活動には持ち直しの動きが見られるものの、本格回復には至っておらず、諸外国での経済活動の再制限による外需縮小、米中対立の激化に伴う世界経済への下押し圧力には注意する必要があります。

#### 当社グループの業績

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、次のとおりであります。

収益	海外自動車事業での販売台数減少による自動車での減収に加え、合成樹脂取引の減少やメタノール価格の下落による化学での減収や、石炭価格の下落や前期末における権益売却による金属・資源での減収などにより、7,446億22百万円と前年同期比16.7%の減収となりました。
売上総利益	収益の減少などにより、前年同期比252億85百万円減少の844億52百万円となりました。

税引前四半期利益	物件費の減少などによる販売費及び一般管理費の良化や、商業施設の売却やガス火力発電事業会社の一部売却などによるその他の収益・費用の増益があったものの、売上総利益の減益に加え、持分法による投資損益の減少などにより、前年同期比232億62百万円減少の119億97百万円となりました。
四半期純利益	税引前四半期利益119億97百万円から、法人所得税費用15億43百万円を控除した結果、四半期純利益は前年同期比211億89百万円減少の104億54百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期純利益は前年同期比203億70百万円減少し、91億47百万円となりました。
四半期包括利益	四半期純利益にFVTOCIの金融資産や在外営業活動体の換算差額などを計上した結果、四半期包括利益は前年同期比119億20百万円増加し、66億56百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期包括利益は前年同期比122億55百万円増加し、56億60百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（以下「四半期純利益」は「親会社の所有者に帰属する四半期純利益」を指しております。）

#### 自動車

収益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う海外自動車事業での販売台数減少などにより、717億74百万円と前年同期比39.0%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益などにより、前年同期比31億65百万円減少し、16億40百万円の損失となりました。

#### 航空産業・交通プロジェクト

収益は、航空機関連取引の減少などにより、99億55百万円と前年同期比43.9%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益に加え、持分法による投資損益の減少などにより、前年同期比9億29百万円減少し、3億30百万円の損失となりました。

#### 機械・医療インフラ

収益は、産業機械取引の減少などにより、480億15百万円と前年同期比15.2%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益があったものの、持分法による投資損益の増加などにより、前年同期比7億30百万円増加し、21億86百万円となりました。

#### エネルギー・社会インフラ

収益は、海外ガス火力発電事業の減収や、前期における国内太陽光発電事業会社の一部売却による関連会社化の影響などにより、243億88百万円と前年同期比29.2%の減収となりました。四半期純利益は、ガス火力発電事業会社の一部売却などによるその他の収益・費用の増益があったものの、売上総利益の減益などにより、前年同期比17億53百万円減少し、16億91百万円となりました。

#### 金属・資源

収益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う石炭価格の下落や前期末における権益売却などにより、1,710億73百万円と前年同期比8.7%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益に加え、鉄鋼事業会社の減益による持分法による投資損益の減少などにより、前年同期比117億84百万円減少し、19億68百万円の損失となりました。

### 化学

収益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う合成樹脂取引の減少やメタノール価格の下落などにより、1,834億74百万円と前年同期比19.1%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益などにより、前年同期比34億49百万円減少し、13億17百万円となりました。

### 食料・アグリビジネス

収益は、海外肥料事業での取扱数量増加などにより、670億51百万円と前年同期比2.2%の増収となりました。四半期純利益は、売上総利益の増益などにより、前年同期比31億40百万円増加し、43億37百万円となりました。

### リテール・生活産業

収益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う木材取引や食肉取引の減少、衣料製品事業の減収などにより、1,388億3百万円と前年同期比10.5%の減収となりました。四半期純利益は、商業施設の売却などによるその他の収益・費用の増益があったものの、売上総利益の減益などにより、前年同期比2億円減少し、25億79百万円となりました。

### 産業基盤・都市開発

収益は、海外工業団地事業の減収などにより、167億21百万円と前年同期比3.9%の減収となりました。四半期純利益は、売上総利益の減益に加え、持分法による投資損益の減少などにより、前年同期比11億82百万円減少し、5億98百万円の損失となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 1. 連結資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、化学、自動車で営業債権及びその他の債権（流動）が減少したことや、自動車で棚卸資産が減少したことなどにより、前期末比756億9百万円減少の2兆1,546億76百万円となりました。

負債合計は、化学、機械関連で営業債務及びその他の債務（流動）が減少したことや、借入金の返済などにより、前期末比611億34百万円減少の1兆5,472億53百万円となりました。

資本のうち親会社の所有者に帰属する持分合計は、四半期純利益の積み上がりによる増加がありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得などにより、前期末比96億29百万円減少の5,694億94百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の流動比率は169.2%、長期調達比率は83.5%、自己資本比率（※）は26.4%となりました。また、有利子負債総額から現金及び現金同等物、及び定期預金を差し引いたネット有利子負債は前期末比817億32百万円減少の5,314億42百万円となり、ネット有利子負債倍率（※）は0.93倍となりました。なお、有利子負債総額にはリース負債を含めておりません。

※ 自己資本比率及びネット有利子負債倍率の算出には、親会社の所有者に帰属する持分を使用しております。

当社グループは、当年度を最終年度とする「中期経営計画2020」におきまして、従来と同様に、資金調達構造の安定性維持・向上を財務戦略の基本方針とし長期調達比率の維持、また経済・金融環境の変化に備えた十分な手元流動性の確保により、安定した財務基盤の維持に努めております。

長期資金調達手段のひとつである普通社債につきましては、2020年9月に100億円を発行いたしま

した。引き続き金利や市場動向を注視し、適切なタイミング、コストでの起債を検討してまいります。

また、資金調達の機動性及び流動性確保の補完機能を高めるため、円貨1,000億円（未使用）及び当第2四半期に2億ドルを追加した18億米ドル（1.7億米ドル使用）の長期コミットメントライン契約を有しております。

## 2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは968億93百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは42億64百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは505億43百万円の支出となりました。これに現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,154億23百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金は、運転資金の減少及び営業収入などにより968億93百万円の収入となりました。前年同期比では355億7百万円の収入増加となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金は、商業施設の売却やガス火力発電事業会社の一部売却があったものの、有形固定資産の取得などにより42億64百万円の支出となりました。前年同期比では170億70百万円の支出減少となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金は、借入金の返済や配当金の支払いなどにより505億43百万円の支出となりました。前年同期比では238億44百万円の支出増加となりました。

## （3） 連結業績予想に関する定性的情報

### 通期連結業績の見通し

当期の連結業績予想につきましては、2021年3月期第1四半期決算発表時に公表しました連結業績予想から修正しておりません。

#### ※将来情報に関するご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。



3. 要約四半期連結財務諸表  
 (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	272,651	315,423
定期預金	7,433	15,073
営業債権及びその他の債権	638,207	564,602
デリバティブ金融資産	5,055	3,543
棚卸資産	213,385	183,821
未収法人所得税	3,956	4,457
その他の流動資産	64,455	64,054
小計	1,205,145	1,150,976
売却目的で保有する資産	12,318	—
流動資産合計	1,217,464	1,150,976
非流動資産		
有形固定資産	157,995	162,755
使用権資産	74,136	70,962
のれん	66,496	66,722
無形資産	43,366	47,420
投資不動産	18,602	13,130
持分法で会計処理されている投資	413,740	402,931
営業債権及びその他の債権	78,352	80,103
その他の投資	140,975	142,483
デリバティブ金融資産	173	0
その他の非流動資産	11,680	11,580
繰延税金資産	7,300	5,608
非流動資産合計	1,012,821	1,003,699
資産合計	2,230,285	2,154,676
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	481,768	444,199
リース負債	15,317	15,124
社債及び借入金	186,767	141,762
デリバティブ金融負債	5,257	3,325
未払法人所得税	6,572	4,783
引当金	1,956	1,680
その他の流動負債	56,716	69,219
小計	754,354	680,095
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	1	—
流動負債合計	754,356	680,095
非流動負債		
リース負債	63,666	59,998
社債及び借入金	706,491	720,176
営業債務及びその他の債務	9,738	9,351
デリバティブ金融負債	763	726
退職給付に係る負債	22,077	22,145
引当金	31,102	33,221
その他の非流動負債	8,943	10,737
繰延税金負債	11,247	10,800
非流動負債合計	854,030	867,158
負債合計	1,608,387	1,547,253
<b>資本</b>		
資本金	160,339	160,339
資本剰余金	146,756	146,765
自己株式	△10,901	△15,853
その他の資本の構成要素	49,777	45,462
利益剰余金	233,151	232,780
親会社の所有者に帰属する持分合計	579,123	569,494
非支配持分	42,774	37,928
資本合計	621,898	607,422
負債及び資本合計	2,230,285	2,154,676

(2) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
収益		
商品の販売に係る収益	844,638	704,572
サービス及びその他の販売に係る収益	49,194	40,049
収益合計	893,832	744,622
原価	△784,095	△660,170
売上総利益	109,737	84,452
販売費及び一般管理費	△85,620	△78,950
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	392	2,055
固定資産減損損失	△492	—
関係会社整理益	829	2,153
関係会社整理損	△207	△64
その他の収益	2,671	3,144
その他の費用	△3,185	△3,475
その他の収益・費用合計	7	3,814
金融収益		
受取利息	3,687	2,963
受取配当金	2,014	1,477
金融収益合計	5,701	4,441
金融費用		
支払利息	△7,683	△6,228
その他の金融費用	△97	△102
金融費用合計	△7,781	△6,330
持分法による投資損益	13,215	4,570
税引前四半期利益	35,259	11,997
法人所得税費用	△3,616	△1,543
四半期純利益	31,643	10,454
四半期純利益の帰属：		
親会社の所有者	29,517	9,147
非支配持分	2,125	1,306
計	31,643	10,454

(3) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	31,643	10,454
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産	△7,453	2,315
確定給付制度の再測定	163	113
持分法で会計処理されている 投資におけるその他の包括利益	△8,041	△369
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△15,331	2,059
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△14,162	181
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,207	2,780
持分法で会計処理されている 投資におけるその他の包括利益	△6,207	△8,820
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△21,576	△5,857
税引後その他の包括利益	△36,907	△3,798
四半期包括利益	△5,264	6,656
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△6,595	5,660
非支配持分	1,330	995
計	△5,264	6,656

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2019年4月1日残高	160,339	146,645	△865	4,861	107,226	△4,512
会計方針の変更による影響						
2019年4月1日残高(修正後)	160,339	146,645	△865	4,861	107,226	△4,512
四半期純利益						
その他の包括利益				△18,833	△15,511	△1,964
四半期包括利益	—	—	—	△18,833	△15,511	△1,964
自己株式の取得		△0	△0			
自己株式の処分		△24	24			
配当金						
支配が継続している子会社に対する親会社の持分変動				0		0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					678	
株式報酬取引		76				
その他の増減						
所有者との取引等合計	—	52	23	0	678	0
2019年9月30日残高	160,339	146,698	△842	△13,971	92,393	△6,476
2020年4月1日残高	160,339	146,756	△10,901	△29,975	86,513	△6,760
四半期純利益						
その他の包括利益				△3,203	1,835	△2,247
四半期包括利益	—	—	—	△3,203	1,835	△2,247
自己株式の取得		△1	△5,000			
自己株式の処分		△47	47			
配当金						
支配が継続している子会社に対する親会社の持分変動						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△699	
株式報酬取引		58				
その他の増減						
所有者との取引等合計	—	9	△4,952	—	△699	—
2020年9月30日残高	160,339	146,765	△15,853	△33,178	87,648	△9,007

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分合計		
	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素合計				
2019年4月1日残高	—	107,576	204,600	618,295	43,312	661,607
会計方針の変更による影響			△2,402	△2,402		△2,402
2019年4月1日残高(修正後)	—	107,576	202,197	615,892	43,312	659,205
四半期純利益			29,517	29,517	2,125	31,643
その他の包括利益	196	△36,113		△36,113	△794	△36,907
四半期包括利益	196	△36,113	29,517	△6,595	1,330	△5,264
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				—		—
配当金			△11,884	△11,884	△2,960	△14,845
支配が継続している子会社に対する親会社の持分変動		0	△376	△375	694	319
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△196	481	△481	—		—
株式報酬取引				76		76
その他の増減			97	97	474	572
所有者との取引等合計	△196	482	△12,644	△12,085	△1,791	△13,877
2019年9月30日残高	—	71,945	219,070	597,211	42,851	640,063

2020年4月1日残高	—	49,777	233,151	579,123	42,774	621,898
四半期純利益			9,147	9,147	1,306	10,454
その他の包括利益	128	△3,487		△3,487	△310	△3,798
四半期包括利益	128	△3,487	9,147	5,660	995	6,656
自己株式の取得				△5,001		△5,001
自己株式の処分				—		—
配当金			△10,378	△10,378	△2,190	△12,568
支配が継続している子会社に対する親会社の持分変動				—	96	96
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△128	△827	827	—		—
株式報酬取引				58		58
その他の増減			31	31	△3,748	△3,717
所有者との取引等合計	△128	△827	△9,518	△15,289	△5,842	△21,132
2020年9月30日残高	—	45,462	232,780	569,494	37,928	607,422



(6) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	自動車	航空産業・ 交通プロジェクト	機械・医療 インフラ	エネルギー・ 社会インフラ	金属・資源	化学	食料・アグリ ビジネス
収益							
外部顧客からの収益	117,706	17,747	56,593	34,464	187,360	226,713	65,625
セグメント間収益	—	11	26	883	—	8	5
収益合計	117,706	17,759	56,619	35,347	187,360	226,722	65,630
四半期純利益 (親会社の所有者に帰属)	1,525	599	1,456	3,444	9,816	4,766	1,197

	報告セグメント			その他	調整額	連結合計
	リテール・ 生活産業	産業基盤・ 都市開発	計			
収益						
外部顧客からの収益	155,070	17,392	878,673	15,159	—	893,832
セグメント間収益	27	189	1,152	77	△1,229	—
収益合計	155,097	17,581	879,826	15,236	△1,229	893,832
四半期純利益 (親会社の所有者に帰属)	2,779	584	26,170	254	3,093	29,517

四半期純利益(親会社の所有者に帰属)の調整額3,093百万円には、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異2,705百万円、各セグメントに配分していない全社資産に関わる受取配当金等388百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	自動車	航空産業・ 交通プロジェクト	機械・医療 インフラ	エネルギー・ 社会インフラ	金属・資源	化学	食料・アグリ ビジネス
収益							
外部顧客からの収益	71,774	9,955	48,015	24,388	171,073	183,474	67,051
セグメント間収益	—	—	38	941	—	0	5
収益合計	71,774	9,955	48,053	25,330	171,073	183,475	67,057
四半期純利益又は四半期純損失(△) (親会社の所有者に帰属)	△1,640	△330	2,186	1,691	△1,968	1,317	4,337

	報告セグメント			その他	調整額	連結合計
	リテール・ 生活産業	産業基盤・ 都市開発	計			
収益						
外部顧客からの収益	138,803	16,721	731,258	13,363	—	744,622
セグメント間収益	3	419	1,409	52	△1,461	—
収益合計	138,807	17,141	732,668	13,416	△1,461	744,622
四半期純利益又は四半期純損失(△) (親会社の所有者に帰属)	2,579	△598	7,574	0	1,573	9,147

四半期純利益又は四半期純損失(△)(親会社の所有者に帰属)の調整額1,573百万円には、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異1,386百万円、各セグメントに配分していない全社資産に関わる受取配当金等187百万円が含まれております。